

寺報

龍正寺

日なた 117号

田
心
の
や
り
心
日
延



<平成 30 年 2 月>

宝 龍 会
護 持 会

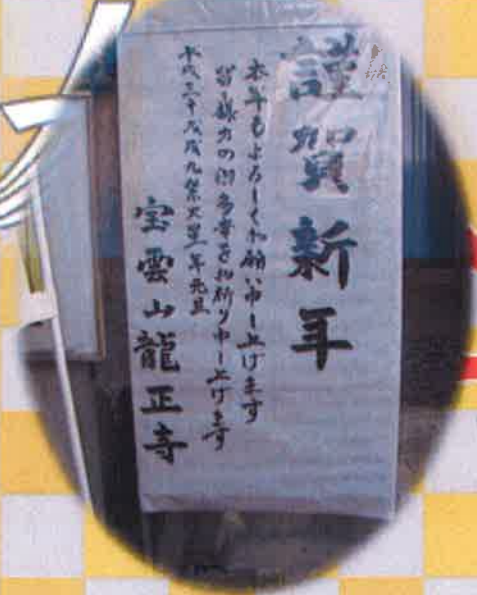
元旦祝禱会を開催しました



大きな声でお題目を唱えます



一心に太鼓を叩いて気持ちを新たに…



新春心を込めて、七面山報恩写経をします



お正月の歌を皆で合掌。気持ちを一つに…



ぱっと桜の花が咲きました。
良いことがありそうな…

＝ 任 職 一 言 ＝ 幸せは自身で

平成30年の正月を迎えたと思いきや、もう2月です、早いものですね。月末には寒波に おおわれ大変でした。2月は正月と同様、節の変わりです。各所で豆まきや厄除の行事等がおこなわれ、1ヶ年の幸せを祈る人々が多くおられると思いきや、節分を境にして大紫火星戌戌の年になります。良き年である事を祈ります。

私たちは、この世に生きていくには、多くの人の支えがあって生きていくと思いきや、決して自身の力だけではありません。

昔からの言葉に「人の振りを見て、我振り直せ」とあります。

嫌な行動を見た時、自身にも人に嫌な行動をしているかもしれません。

嫌な言葉を聞いた時、自身も人に嫌な言葉を言っているかもしれません。

お釈迦様お説きになつた言葉の中に「苦を離れざる者をば、願くは苦を離れしめん、未だ樂を得ざる者には、樂を得

せしめん、未だ菩提心を発せざる者は、願くば菩提心を発せしめん、未だ善を修し悪を断せざる者には、願くば善を修し断せしめ
ん」とお教えになられておられます。

苦しい心の人には、苦しみからのがれ、楽になれない人は楽になれる
様に、菩提心になれない人には、菩提心になれる様に、善の
心を持って悪の心を持つ人は悪の心をのぞき善の心が持つる
様に、お教えになられておられます。本年の九紫火星戊戌年に
的したお教えであると思います。

硬く心な心を柔らかい心になれば、安穏な毎日が送れると思っ
ます。

安穏な毎日を送れる様、お題目を唱えて下さい。

お題目を唱える事で色々の厄除が出来、豊かな心が生
れ、前向きになり、笑顔になり、幸せな日々を送れると思
います。

合 掌

節分を迎えて

寒い日が続きますが、体調崩されていませんか？

今年の節分、星祭りは、我が家の子ども達は3人共、特別、別祈願の申し込みをさせて頂きました。

厄年や、九越しが重なり、申し込みを記入しながら今年も、一層気を引き締めていかなくては...と感じていました。

よく、厄年には悪い事が起きやすいからという言葉に身にします。職場の中でも機械に指をまき込まれた男性に「厄払いした？」とパートさんが話されているのを聞いたばかりです。私も、そう思っていたうちの一人でした。

申し込みの話を仲間にする時、その方は笑顔で「変化の多い年なんだよね。楽しみ♡」と答えられました。肩に力が入っていた私は、その答えに正直びっくりしたのを覚えています。昔、コンクリートの上にある大きな石と、泥沼の上にある大きな石では、同じ方向に押しても、進む方向が違ったり、進み方も違う。大きな石は私達本人で、地面の変化は星回りだと教えて頂いたことがありました。進んでほしい方

向にうまく進むほう。御祈禱。御祈願させて頂く。
のが、節分。星祭り祈禱会だ」ととらえていました。

勿論、間違っているではないんです。逆に考えると、変化
しやすい年だということ。思いがけない変化も起こりや
すいという事になる。前向きな気持ちで受け入れて
その変化を楽しめたらいいなあと思いました。

今までの気持ちでいたら、もし、何かマイナスな出来
事が起きた時、「あ〜^ん今年はや、ほり悪い事が
起きやすいから…」と後向きになってしまう自分が見える
ほうです。でも、その言葉のおかげで、視野も広がり、何
か起きてもしれくらので治めて頂けたんだ」と前向き
にとらえられるような気がしています。

きっとその方は変化^{へんげ}の人… その人を使って仏様が
教えて下さったんだと感謝しています。

今までとは全然違う気持ちで大法要を迎えられる
事に自然と手を合わせる自分がいます。

邪気を祓う

立春は節気による正月節として重んじられています。

この立春の前日を「節分」と呼び、立春から一年かはじまるとも言われ、この日に災厄を祓う様々な行事が開催されます。

日蓮宗でも 2月10日 大荒行出行会があります。

(昨年11月入行された行僧の方々が満行され出行される。)

又、各寺院では節分会が行われています。

“節分に福を呼び、邪気を払う”，それは行事だけではなく我が心にも言えます。

心の邪気を払う事……。それは決して簡単ではありません。

他人に自分の行いを注意・指摘される時などは、素直

に受け入れられず、良きアドバイスでも言いわけをしたり

相手に対して不平不満を募らせてしまう時もあると思います。

しかし、指摘を良きアドバイスとして素直に受け入れる時こそ、

チャンスの時だと思えます。

そして気づけた事を良き方向へ実行・努力する事で

新たな幸せ・喜びを見つけられる事が出来ます。

この前、御住職に「この一年間の事を考えると、心が暗く
なります」と相談しました。

次から次へと訪れるであろう難問に、どのように解決し
ていけば良いか…。自分の苦手とする部分の問題が押し
寄せてくる。その不安に心が折れそうになり、先へ先へ
考え過ぎて動けなくなっていました。

御住職から「身も心も仏様に委ね、ひたすらお題目
を唱えましょう。」とアドバイスを受けました。

はじめは「わかってます。」そして「わかりました。」と言えな
い自分がいる事に気がつきました。

本堂でゆくり「南・無・妙・法・蓮・華・経」と唱えて
いると…。いつも口癖にしている、「人間万事塞翁が馬」の
言葉が頭の中に浮びました。するとよこしまな考えや不安が
心からス〜ッと消えて、心の乱れがなくなりました。

御題目を唱え続けていると、体が温かくなり、やわらかい
大きな物に包まれているような感じがしました。お題目・法華経
はその実行・努力を導いて下さるお教です。寺院で邪気を祓い心も
導きにより邪気を追い払いましょう。そして福を呼び込み、明るく楽
しい一年を過ごしましょう。

変わる勇気

ある方の新年のあいさつです。

生者必滅(しょうじゃひつめつ) 榮枯盛衰(えいこせいすい)は世の習い。

「生あるものはいつか滅す」ものです。

アルフレッド・アドラーの「嫌われる勇気」にあるように、他人の目や、他人の評価ばかりを気にするあまり他人を生き残らしてしまうのではなく、『自分を生きる』そんな一年でありたいものです。

人生100年を生き抜くためには、確固たる信念と変わる勇気を持って果敢に次のステージに挑戦しなければなりません。今年はその挑戦の元年とバドワイザーみんなが、一步前に踏み

だそうではありませんか。

その方のあいさつの文章を見た時、その通りだ
なあといい。今年という年を、変わる勇気を
持って挑戦していきたいと決めたのでした。

日々の出来事に対して自分自身が変わらなく
てはいけません。起ります。

起る出来事に対して1つ1つ考えて自分自身
の内なる変化を身につけていきたいと思っ
ました。

南無妙法蓮華經

< 2月の行事予定 >

2月13日(火) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人降誕報恩会
釋尊涅槃会

2月18日(日) 10:00~ 鬼子母尊神
七面大明神) 祈禱会

< 住職の予定 >

2月26日(月) 10:00 長照寺様 帰山式に出仕

< 2月の予定 >

2月6日(火)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
12日(月)		
13日(火)	法要後	片付け、準備
14日(水)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
17日(土)		